

～ It has been said that democracy is the worst form of government except all the others that have been tried. ~ Winston Churchill

皮肉とユーモアに長けたイギリス人の典型ともいえるチャーチルらしい言葉です。しかし今、日本を含めて多くの国で民主主義が危機に直面しているのではないのでしょうか。国軍がクーデターで政権を握ったミャンマーでは、先日ついに民主化運動の指導者の死刑が執行され、ノーベル平和賞受賞者で、同国の民主化運動の象徴的存在であるアウン・サン・スー・チー氏は軟禁状態から刑務所へ移送されました。2010年から北アフリカや中東のイスラム諸国で独裁政権が次々に倒れ、「アラブの春」と呼ばれた一連の民主化の波も、今は揺り戻しが起きているようです。終わりの見えないウクライナ侵攻で、ロシアの協力国であるベラルーシが欧州最悪の独裁国家であることも明白になりました。また、フィリピン大統領選挙でのマルコス氏の当選は、フィリピン国民の選択であるとはいえ、父親の故マルコス大統領の独裁を思い起こすとき、一抹の危惧を禁じ得ません。また、ロシアに対して強硬な対応を取っている国がいわゆる「西側先進国」ばかりであるという現実、平和を願う一般民衆の意思が反映されない体制の国々が未だに多いという事を裏書きしているかのようです。

そして我が国です。7/10の参議院議員選挙の投票率は52.05%。かつては60～70%台が当然であった国政選挙の投票率は2012年の安倍政権成立以降は、衆参ともに50%前後に低迷しています。「民主主義」とは「国民主権」という意味であり、その原則的な精神は、「主権者である国民の全員参加」であるはずですが、にもかかわらず選挙権を行使しない国民が半数近い、という状態で、民主主義が機能していると言えるのでしょうか？

政治に対して興味関心を持たなくなったこと、責任を他者に押しつけるのは簡単ですが、今年も猛暑のこの夏、受験勉強に健気に励む、次代を担う若い世代に、大人はではどのような社会を受け継がせるつもりなのでしょう。彼ら彼女らが努力し勉強に努め、希望に満ちて社会に参加してくるとき、大人世代が提供するのとはどのような社会なのか、それを真剣に考えた結果が、このような投票率なのでしょうか。

7月号で言及できなかった学年のみなさん、今月もコメントできなくてごめんください。

8月予定表

日	月	火	水	木	金	土
7/31	1	2	3	4	5	6
	夏期講習期間					
7	8	9	10	11 山の日 休講日	12 休講日	13 休講日
	夏期講習期間					
14	15 休講日	16 休講日	17	18	19	20
	夏期講習期間					
21	22	23	24	25	26 佐井寺実力テスト 西山田実力テスト①	27 第3回 進研模試
	夏期講習期間					
28 中3入試説明会	29 西山田実力テスト②	30 摂津3実力テスト	31 千里丘実力テスト	9/1 山田実力テスト	2	3
	夏期欠席個別対応日	夏期欠席個別対応日	五ツ木過去問演習			

～9月以降の行事予定～

- ・9/1(木) 休講日
- ・9/2(金) 塾2学期開講日
- ・9/5(月) 中3C問題対策①
- ・9/6(火) 中3チャレンジテスト
- ・9/11(日) 五ツ木テスト(中3)
- ・9/12(月) 中3C問題対策②
- ・9/19(月・祝) 敬老の日(休講日)
- ・9/23(金・祝) 秋分の日(休講日)
- ・9/26(月) 中3C問題対策③



☆ 中3「数学C問題対策」が始まります

最高難易度の入試問題への対策講座「数学C問題対策」が9月から開講します。北野、茨木、豊中をはじめとした文理学科および春日丘、千里高校等への受験を目指している生徒は必ず受講してください。

※詳細は後日配布します。

☆ 夏期講習中の取り組み

夏期講習期間中の学習の記録を残すために、「日々の足跡」というプリントをお子様へ渡しております。授業の欠け、宿題の状況、小テスト結果を自分で管理できるようにしています。お盆休みの間に、夏期前半のお子様の授業の様子を確認していただき、保護者の方のサインをお願いいたします。[小5～中2対象]



☆ 第3回進研模試(小学生・中学生)

8/27(土)は、第3回進研模試を実施します。中3生は夏期講習で獲得した実戦力を発揮するテストになります。

全学年、この夏の力がきちんと発揮できるように、対策をして受けてください。時間帯は、配布のプリントを確認してください。当日受験できない人は事前に必ず申し出て、別日に受験をお願いします。

☆ 高校生の「小論文」指導について

GrowrYにおける国語力強化の取り組みとして、「小学生の名作文学筆写」「中学生の天声人語筆写と感想文作成」はともに定番として定着してきたと認識しております。ただし、中学生に関しては、学年やクラスにより、取り組む姿勢や提出率などにバラツキがあり、これは主として配布と回収を担当する我々の意識の濃淡によるものと自戒しております。

さて、その点で指導が欠落しておりました高1・2生に対し、昨年度に夏期の課題として、「同一の事案を論題とする2つの新聞の社説」を配布したうえで、

- *それぞれの社説を批判的に読む。
 - *両者の論調の違いを読み取り、それについて考察する。
 - *前2項に基づいて小論文を作成する。
- という課題を課しました。

人文社会系の文章を読みこなし、それに対して自分なりの考えを構築し、それを論理的な文章で記述するスキルは、大学入試の小論文で効果を発揮するだけでなく、大学入学後の学問研究の基礎力としても必須のものです。

従いまして、今年の高1・2生にも同様の課題を課しており、来年度以降も定番化させていく方針でございます。

今年の夏期講習は、第7波の影響でこれまで以上に陽性者や濃厚接触者の欠席が増えているのを実感しています。昨年の夏は、第5波による緊急事態宣言が発令され、政府は国民への行動制限を要請していましたが、今年は感染者が昨年以上に増加する中でも行動制限は行わないと宣言されています。なぜ？と感じるところもありますが、どうすることが正解なのかは、時間が経過してみないと分からないのかも知れません。ただ、個人の行動としては、体調を整え、自分が感染しないように、また他人に感染させないように意識して過ごすことが大切なことなのだと考えます。GrowrYでも従来どおり対面の授業に加え、要請があればオンライン授業での対応も続けております。必要な場合は遠慮なくお申し出ください。

さて、受験生にとって夏は受験の天王山です。夏の過ごし方が、受験校を決めると言っても過言ではありません。クラブ活動を引退した生徒は、クラブに使っていた時間を全て勉強に使ってください。1日10時間を目標に勉強時間を確保し、大切な2学期の飛躍につなげましょう。家で集中できない人は、積極的にGrowrYで自習することをお勧めします。

「真夏の暑さ到来!! 水分・塩分はしっかり取って、心身ともに充実した成長を感じられる夏にしよう!!」

GrowrY 講師一同

※この通信は、GrowrYの発行物であり、著作権はGrowrYに帰属します。無断で複製・転載を禁じます。